

ICレコーダー
かんたんスタートガイド



ICD-UX543F/UX544F

4-472-203-01(1)

© 2013 Sony Corporation Printed in China



はじめに

本書はICレコーダーをはじめお使いになるときに必要な準備、基本的な録音、再生、消去の操作方法や、上手な録音方法などを説明しています。その他機能の説明や、詳しい操作方は、別冊の取扱説明書またはヘルプガイド (<http://rd1.sony.net/help/icd/u54/jp>)をご覧ください。

準備—充電する

パソコンを使って充電する

① ICレコーダーを起動しているパソコンにつなぐ。側面のUSBつまみを矢印の方向へスライドして、USB端子を起動しているパソコンにつなぎます。

充電中は、「接続中」と電池マークがアニメーション表示されます。

充電が完了すると、電池マークが「FULL」と表示されます。

② ICレコーダーをパソコンから取りはずす。録／再ランプが消えていることを確認して、パソコンで下記の操作を行います。

Windowsの場合:
タスクバー(パソコンの画面右下)にあるアイコンを左クリックしてください。Windows 7、Windows 8の場合は[IC RECORDERの取り外し]を左クリックしてください。

Macの場合:
Finderのサイドバーの[IC RECORDER]の取りはずしアイコンをクリックしてください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

USB ACアダプターを使って充電する

付属のUSB AC アダプター(ICD-UX544Fのみ)または別売のUSB ACアダプター(AC-UD20など)を使って充電することもできます。

■ご注意

ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

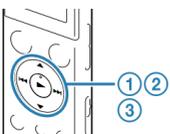
使ってみよう

1. 電源を入れる



① 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドする。

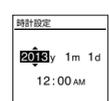
2. 初期設定をする



お買い上げのあと、初めて電源を入れたときや時計が設定されていない場合、「時計を設定します」が表示されます。



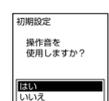
① ▲または▼を押して「次へ」を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。



② ▲または▼を押して年の数字を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。同じ操作を繰り返し、月、日、時、分の順に設定する。

戻る/ホームボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。分を選び、▶(再生/決定)ボタンを押すと、時計が設定され、続けて「操作音を使用しますか?」が表示されます。

③ ▲または▼を押して「はい」または「いいえ」を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。



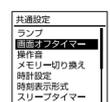
設定が完了すると、ホームメニュー画面が表示されます。

ヒント

- それぞれの手順の間を1分以上あけると、初期設定がキャンセルされ、ホームメニューが表示されます。
- 時計設定と操作音設定は、ホームメニューを使って後から設定、変更もできます。詳しい操作方は、取扱説明書の「メニューを使って時計を合わせる」、「メニューを使って操作音の設定をする」をご覧ください。

画面オフタイマー

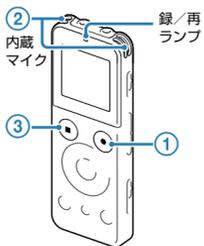
使用時の電池消費を低く抑える画面オフタイマーをお使いになります。



ヒント

常に画面を表示させたいときは、ホームメニュー→[各種設定]→[共通設定]→[画面オフタイマー]で「画面を消さない」を選んでください。

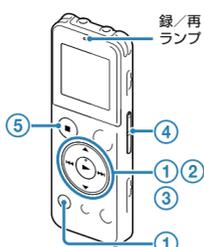
3. 録音する



- 録音/一時停止ボタンを押す。
録音が表示されて録音が始まり、録/再ランプが赤く点灯します。
- 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。
- 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。「しばらくお待ちください」と表示され、録音停止画面に戻ります。

録音停止後に▶ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。

4. 再生する

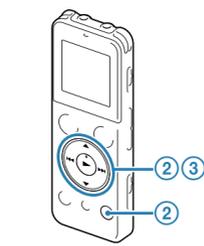


- ホームメニューで◀◀または▶▶を押して[録音したファイル]を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。
- ▲または▼を押してフォルダを選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。
- ▲または▼を押して、ファイルを選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。

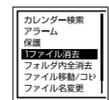
▶▶が表示されて再生が始まり、録/再ランプが緑に点灯します。

- 音量-/+ボタンを押して、音量を調節する。
- 再生を止めるには、■停止ボタンを押す。

5. 消去する

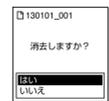


- ご注意
一度消去したファイルはもとに戻せません。
- 録音停止中または再生停止中/再生中に消去したいファイルを選ぶ。
- オプションボタンを押してメニューを表示し、▲または▼ボタンで「1ファイル消去」を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。



「消去しますか?」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

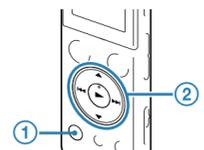
- 「はい」を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。



「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、ファイルが消去されます。

ホームメニューで使いたい機能を選ぶ

ICレコーダーでは、各機能の入り口がホームメニューになります。ここから各機能を選んだり、録音したファイルを探したり、設定を変更することができます。



- 戻る/ホームボタンを長押しする。
ホームメニュー画面が表示されます。



ホームメニューは、下記のように並んでいます。



*XXには、現在使用している機能が表示されます。

- ◀◀または▶▶を押して使いたい機能を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。

以下の機能が選べます。

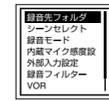
ボッドキャスト	パソコンから転送したボッドキャストを選んで、再生できます。
ミュージック	パソコンから転送した音楽ファイルを選んで、再生できます。
録音したファイル	ICレコーダーで録音したファイルを選んで、再生できます。
録音	録音画面を表示します。録音を開始するには、●録音/一時停止ボタンを押します。
FMラジオ	FMラジオ画面を表示して、FMラジオを聞いたり、録音したりできます。
各種設定	各種設定メニューを表示して、ICレコーダーのさまざまな設定ができます。
XX画面へ*	ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。 *XXには、現在使用している機能が表示されます。

ヒント

ホームメニュー画面や各種設定画面で■停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

オプションメニューで設定する

- 使いたい機能を選択したあとで、オプションボタンを押す。
使いたい機能のオプションメニューが表示されます。



- ▲または▼を押して設定したい項目を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。

- ▲または▼を押して設定内容を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。

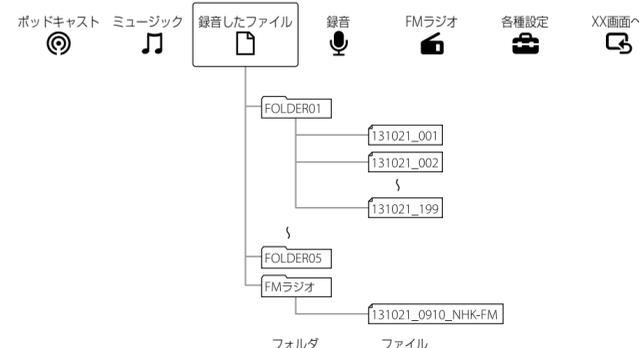
ヒント

- 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。
- 各機能の設定項目について、詳しくは、取扱説明書の「オプションメニュー項目一覧」をご覧ください。

フォルダとファイルについて

ICレコーダーで録音した音声ファイルは、フォルダに保存されます。初期設定で、下記のフォルダが自動的に作成されます。

「FOLDER01」～「FOLDER05」: マイク録音したファイルが保存されます。
「FMラジオ」: ラジオ録音したファイルが保存されます。



FMラジオを聞く

FMラジオ受信時は、付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をしますので、Ω(ヘッドホン)ジャックにつなぎ、できるだけ長くのぼしてお使いください。スピーカーで聞くとともに、ステレオヘッドホンにΩ(ヘッドホン)ジャックにつなぎ、できるだけ長くのぼしてお使いください。

- ホームメニュー→[FMラジオ]を選び、▶ボタンを押して決定する。
FMラジオモードに入ります。



初めてお使いになるときは、「受信する地域を設定してください」と表示され、地域設定画面が表示されます。すでに地域設定をしている場合は、手順③から操作してください。

- ▲または▼を押して受信したい地域を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。「プリセットリスト1へ登録しました」と表示され、選択した地域の放送局がプリセットリストに登録されます。

- お好みの放送局のプリセット(P)番号が表示されるまで、◀◀または▶▶を押して選局する。

- FMラジオを止めるには ■停止ボタンを押す。

上手に録音、再生するために

ためし録りのススメ

部屋の大きさ、話をする人の声の大きさ、パソコンを近くで使用しているのかどうか…。録音環境は人によってさまざまです。望まれる「音質」も録音対象によって変わってきます。ためし録りは、大切な録音を失敗しないため、また、理想の音質に録音環境を整えるために大変有効なものです。

ノイズとして録音される可能性のある音について

ノイズの原因となる音とは

ICレコーダーには、音声以外のさまざまな音が録音されてしまうことがあり、ノイズとして聞こえてしまいます。録音されるノイズには以下のようなものがあります。

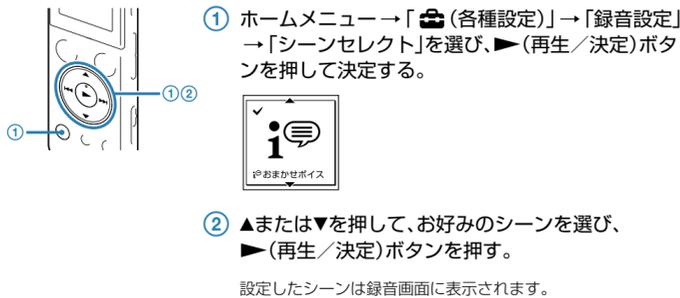


録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本体に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ノイズの原因となっている音から遠ざけるか、取りのぞいてください。
- 状況に応じた「録音モード」を選んでください。ノイズが気になる場合は、録音モードを高音質モードに設定することをおすすめします。
- 状況に応じた「内蔵マイク感度設定」を選んでください。周囲の音がノイズとなって聞きづらい場合は、マイク感度を下げてみてください。
- 録音シーンに合わせて「シーンセレクト」を選び、録音モードやマイク感度など、録音に必要な項目を一括でおすすめの設定に切り換えることができます。

用途に合わせた録音シーンを選ぶ

シーンセレクト機能は、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。「Myシーン1」、「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。



ヒント

録音停止中にオプションボタンを押すと、シーンセレクトを設定できます。

おまかせボイス

入力音声レベルを判断して適正な感度で録音します。感度設定を間違えて再生時によく聞こえないなどの録音ミスを少なくします。
*お買い上げ時の設定は「おまかせボイス」です。

ご注意

「おまかせボイス」は人の声(音声)に特化した設定項目ですが、くしゃみや静かな会話からの急な笑い声など、突発的な大きな音が入力された場合は、音がひずむことがあります。

会議

広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。ハンカチなどの上にICレコーダーをのせることで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。発表者に近い場所で録音してください。



講演

講演会や講義を録音するときに適しています。マイクを音源の方向に向けて録音します。別売の指向性マイクを使用することで、録りたい音声を狙って録音することができます。



ボイスメモ

マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。録音するときには、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。



インタビュー

インタビューや少人数での会議、打ち合わせなど、1m～2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。マイクの向きをインタビュー相手に合わせて録音します。



歌・音楽

合唱の練習やアコースティックギター、ピアノ、バイオリンなどの楽器の音を2m～3mくらいの距離で録音するときに適しています。ICレコーダーをピアノの上のせて録音すると、ピアノを弾くときの振動も一緒に録音されてしまいます。ICレコーダーをピアノから2m～3m離して録音してください。



ノイズを軽減させる設定

録音するとき(録音フィルターを設定する)

録音フィルター機能を設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。

- ホームメニュー → 「 (各種設定)」 → 「録音設定」 → 「録音フィルター」を選び、▶ (再生/決定) ボタンを押す。
- ▲または▼を押して、「NCF(Noise Cut)」または「LCF(Low Cut)」を選び、▶ (再生/決定) ボタンを押す。

録音フィルター	オフ	録音フィルターを解除します。
NCF(Noise Cut)	LCF(Low Cut)でカットできる低い周波数の音に加え、音声以外の高い周波数の音をカットします。	
LCF(Low Cut)	プロジェクターなどのノイズや風きり音といった低い周波数の音をカットします。	

- 戻る/ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

ご注意

「外部入力設定」をAudio INに設定しているときは、録音フィルター機能は無効となります。

ヒント

- 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。
- 録音中または録音一時停止中にオプションボタンを押すと、録音フィルターを設定できます。

再生するとき(クリアボイス機能をつかう)

再生時に、クリアボイス機能を有効に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします。全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生することができます。

- ホームメニュー → 「 (各種設定)」 → 「再生設定」 → 「クリアボイス」を選び、▶ (再生/決定) ボタンを押す。
- ▲または▼を押して、「クリアボイス1」または「クリアボイス2」を選び、▶ (再生/決定) ボタンを押す。

クリアボイス	オフ	クリアボイス機能を解除します。
クリアボイス1	音声以外のノイズを低減し、声の大きさを自動調整して聞きやすいクリアな音になります。	
クリアボイス2	「クリアボイス1」よりもさらに強いノイズ低減、音声の自動調整効果により、クリアな音質になります。	

- 戻る/ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

ご注意

- 音楽ファイル、ポッドキャストの再生時は、クリアボイス機能は無効となります。
- 内蔵スピーカーで再生しているとき、FMラジオ録音中は、クリアボイス機能は無効になります。

ヒント

- 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。
- 再生中または再生停止中にオプションボタンを押すと、クリアボイスを設定できます。

他機器と接続して使う

オーディオコードを使用して録音すると、周囲の音などの雑音を入れずに録音することができます。(ICD-UX544Fには、オーディオコードが付属しています。)

お使いになれるオーディオコード(別売)

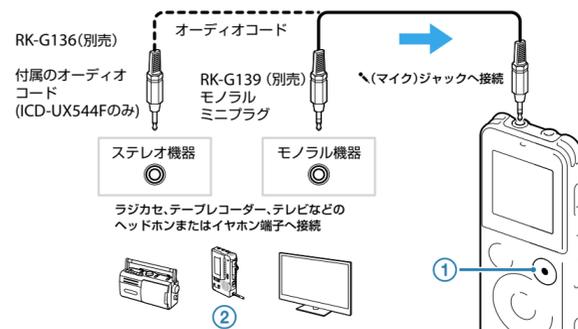
	ICレコーダー側	接続先機器側
RK-G139	ステレオミニプラグ(抵抗なし)	ミニプラグ(モノラル)(抵抗なし)
RK-G136	ステレオミニプラグ(抵抗なし)	ステレオミニプラグ(抵抗なし)

ラジカセ、テープレコーダー、テレビなどからICレコーダーへ録音する

準備

- マイク端子にオーディオコードを接続すると、「外部入力設定」が表示されますので、「Audio IN」を選びます。
- 「シンクロ録音を機能を使って録音しますか?」と表示されますので、「はい」または「いいえ」を選びます。
*シンクロ録音は、2秒以上の無音で録音を一時停止し、音の再開に合わせて新しいファイルとして録音する機能です。詳しくはヘルプガイドをご覧ください。

- 録音/一時停止ボタンを押す。
- 接続先の▶ (再生) ボタンを押す。

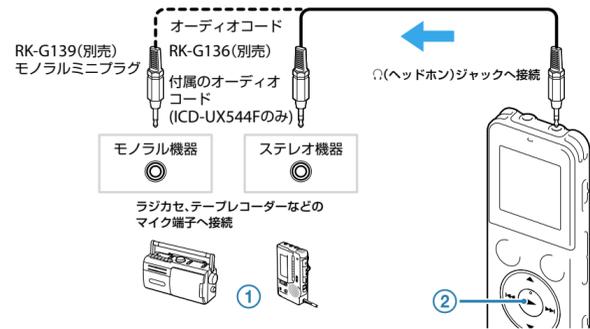


ヒント

- ICレコーダー内に挿入したメモリーカードに直接録音する場合は、あらかじめ設定を変更してください。
- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使ってICレコーダーと接続し、ICレコーダーの録音レベルガイドを確認しながら、他の機器の音量を調節してください。

ICレコーダーからラジカセ、テープレコーダーなどへ録音する

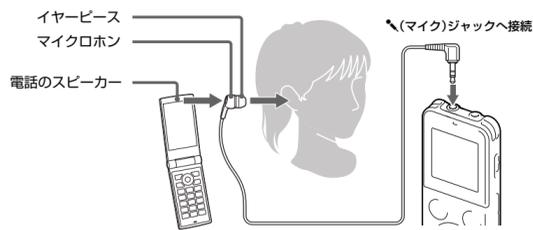
- 接続先の●(録音) ボタンを押す。
- ▶ (再生/決定) ボタンを押す。



ヒント

- 録音された音声の音量が適切でない場合(音が小さかったり、ひずんだりした場合は、ICレコーダーの音量を調節してください)。

電話機や携帯電話の音声を録音する



別売のECM-TL3を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。ICレコーダーの\\(マイク)ジャックにECM-TL3をつなぎ、電話のスピーカーをマイクロホンに当ててください。